

SSH&国際探究ニュース SSH & Global Education Reports

高校生のための現象数理学入門講座と 研究発表会 2026

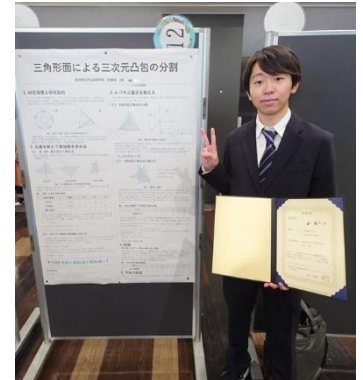
10月11日(日)、明治大学中野キャンパスにて開催された、「高校生のための現象数理学入門講座と研究発表会 2026」に本校生徒25名が参加しました。第1部では、高校生による研究発表会があり、本校の2年生の生徒3名がポスタープレゼンテーションを行いました。第2部では、明治大学理工学部の矢崎先生による現象数理学入門講座「先入観を打ち破る現象数理学入門 -あなたの直感は正しいか?」に参加しました。最後には研究発表会の表彰式があり、本校の生徒が優秀賞をいただくことができました。

明治大学でポスタープレゼンテーションを行った生徒たちの生の声をご紹介します！

三角形面による三次元凸包の分割

今回の発表は、2年生になって研究テーマを変えてから初めてのものでした。そのため、自分では認識していなかった問題点や課題がたくさんあり、それらを確認するいい機会となりました。また、明治大学の先生方の専門性の高い視点からの指摘は今後の研究に役立てていけそうだなと思いました。現象数理学入門講座では、身近なものごとを数学的に捉え直すことで新たな発見があるのだと気づかされました。

全体として、今回の発表では賞を取ることもでき、自分にとってかけがえのない経験になったと思います。



自己逆元合同式における解の個数について



今回の発表会を通して、数理科学に関するさまざまなことを学ぶことができました。主に関東圏の学校が集まり、それぞれの数学に関する興味深い発表を聞くことができ、有意義な時間となりました。

私は、夏頃に発表した内容からさらに研究を進展させたものを発表しました。ゼミ内での発表では得られないような質問や、明治大学の先生方から専門的な視点でのアドバイスをいただくことができ、今後の研究を進めるうえでとても参考になりました。

また、現象数理学入門講座では、私たちが主観的に捉えているものが必ずしも全てではなく、実際には物事の一部分にすぎないということを、現象数理学のさまざまな例を通して学ぶことができたと思います。

なぜ Mrs. GREEN APPLE は売れたのか

今回の現象数理学入門講座は、新しい研究を初めて外部で発表する場でした。自分の研究方法に課題がみられる中での発表となりましたが、明治大学の先生方から多くのアドバイスをいただき、自分が今まで知らなかった研究方法を知ることができました。また、他校の生徒の皆さんの研究も興味深いものが多く、自分の研究に相通ずるものもありました。故に今回の研究発表は、今後研究を行うにあたって非常に有意義なものになったと思います。

